

橫濱辨天廂旅舍

福井屋方馬

山口左七郎

東京虎ノ門外

目

就

社

高白田之監泉



中

五〇〇

高島監泉用箋

新中記云、獨僕のふるす一般土曜リ  
休業日曜を地には棄て極む以て  
長三あり極ふつて有ますに巨量  
言ひ候も一故にいかち増え  
ある水屋井位で半切骨等と過  
るゝ定價凡千匹位と其日部町は  
あるとの類々金七圓ありといふ

地震ハ一般に及ぶべし  
前氣象

西廡中 僕の知已なりと依りて坐す

いふこと  
久し  
昔と  
昔と

まづこのまづみさ  
偏し周

あゝ書位はうきませうす法を

急を以て事せ

卷之七

陽  
東  
之  
子  
也

音同

山  
に  
梅  
あり



8

いふこと久々  
等々

かゝる畫古儀ハウキマセノ寸法也

子以解

游島志村

一、  
二、  
三、

山  
村  
下

一、王后

成